

【SRA Holdings】Special Mail (No.250) 2025 年 11 月

(株)SRA ホールディングス代表取締役社長の大熊です。

本日、2026 年 3 月期第 2 四半期決算を発表しました。併せて、「決算付属資料」、
「2025 年 10 月次売上高速報」も発表しました。

今回の発表の要点は以下の通りです。詳細は発表資料をご覧ください。

＜発表資料＞ <https://www.sra-hd.co.jp/>

〔2026 年 3 月期 第 2 四半期業績(連結)前年同期比〕

■売上高=増収

■収益=「粗利益」「営業利益」「経常利益」「中間純利益」の全てで「増益」

◎売上高:267 億 19 百万円(12.0%増)

・開発事業(2.4%減):製造業及び金融業向けが減少

・運用・構築事業(0.6%増):官公庁向けが増加

・販売事業(38.0%増):株式会社 AIT で金融業向けが大幅に増加

◎粗利益:65 億 68 百万円(6.3%増)

◎販売管理費:27 億 19 百万円(6.0%増)

◎営業利益:38 億 49 百万円(6.5%増)

◎経常利益:40 億 8 百万円(同 27.6%増)

◎中間純利益:25 億 28 百万円(同 22.6%増)

〔2025 年 10 月 月次売上高〕

(株)SRA=単月・累計とも前年比増加

(株)AIT=単月・累計とも前年比大幅に増加

国内子会社=単月・累計とも前年比増加

海外子会社=単月・累計とも前年比増加

＜発表資料＞ https://www.sra-hd.co.jp/ir/ir-news/index_2025.html

売上高は、開発事業では前年同期比やや減少したものの、運用・構築事業ならびに販売事業では前年同期比増加し、特に販売事業で大幅な増収となった結果、26,719 百万円(前年同期比 12.0%増)となりました。

損益面におきましては、売上の増大に伴い、売上総利益は 6,568 百万円(同 6.3%増)、営業利益は 3,849 百万円(同 6.5%増)となりました。経常利益につきましては、営業利益の増加に加え、前期に発生していた為替差損がほぼ発生しなかったため、4,008 百万円(同 27.6%増)となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、経常利益の増加に伴い、2,528 百万円(同 22.6%増)となりました。

なお、「売上高」、「売上総利益」、「営業利益」につきましては、第 2 四半期連結累計期間として「過去最高額」を更新しております。

当期の配当予想につきましては、当第 2 四半期累計において、売上・利益とも順調に推移しており、年度を通じた業績計画の達成確実性が高まっていることから、期末配当金を予想比 10 円増額の 100 円とし、中間配当金 90 円と合わせ年間配当金を前期比 10 円増配の 190 円とすることといたしました。なお、中間配当金 90 円は、予想比不変ですが前年実績比では 10 円の増配となっております。

今般の予想見直しにより、配当性向は、修正前の 46.4%から 49.0%に向上致します。年度末に向け、更なる業績伸展にグループを挙げて邁進し、株主の皆様のご期待に沿えるよう最大限尽力して参ります。

また、10 月の売上高につきましては、(株)SRA、(株)AIT、国内子会社、海外子会社とも、単月・累計ともに前年比増加しており、特に(株)AITにつきましては、第 1 四半期に大口の販売案件があったことから、前年比大幅増となっております。海外子会社につきましても、累計で前年度減少が続いておりましたが、今般「前年比増加」に転じました。下期のスタートとしては、まず順調な滑り出しと考えております。

一方、先行きにつきましては、米国トランプ政権による関税影響の拡大、物価上昇による個人消費や企業投資への影響、為替や株式等の金融資本市場の不安定など、依然として不透明感が拭えないことから、引き続きお客様の業況や投資動向をしっかりと注視のうえ、今後もグループ一丸となり、受注・売上の拡大を目指すとともに、収益性の向上に努めてまいります。

皆様には引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上